



西山富三郎 議員

職員行動指針は

町長

各自手元に置いている



各課朝礼で唱和する

【西山】行動指針は、日本一の職場を目指す自覚と誇りを根付かせ、自発的行動を促し、町民目線の理念を共有し一丸となって町民サービスの向上に取り組む職員風土を醸成するものでなくてはならない。

【町長】行動指針はご指摘のとおりである。

【西山】策定のポイントは、全職員が常に意識でき、心の羅針盤となるよう、コンパクトかつ印象的なものであるか。

【町長】行動の指針は、9年前にできたものであり、全職員の指針である。常に意識できるように各自手元に置いている。

【西山】クレド（経営理念）カードは作成しているか。

【町長】作成していない。

【西山】まちづくりのスローガンは何であるか。

【町長】大山町未来づくり10年プランの基本理念である。「楽しさ自給率の高いまちへ」である。

コンプライアンス条例の制定は

町長

現指針の浸透を優先したい

【西山】昨年度は、職員による不祥事が発覚し、町民の信頼を大きく損なった。コンプライアンス条例を制定してはどうか。

【町長】目的は①不正を未然に防止するため、倫理原則、禁止行為、管理者の責務などの規定②公益通報に関する手続き及び対処の方法、通報者の保護などの規定③不当な働きかけ行為に対し、組織的な行為をはかるなど、である。

【町長】今、行動基準等があるので何をつくるかより、あるものを浸透した上で、高みを指すために条例制定はあると思う。現指針の浸透を優先したい。

「5つの心の道しるべ」

- ①「以前はこれでよかった」の感覚は捨てること！
- ②困ったときにはすぐに報告。信じて相談！
- ③もう遅い？いや今ならまだ間に合うと考えよう！
- ④違反行為の隠ぺいは、後日アナタに返ってくる！
- ⑤ミスはつきもの！力を合わせて解決を！

5つの目標

【西山】コンプライアンスの推進体制は。

【町長】再発防止委員会を今年度立ち上げた。

職員の研修も行っている。コンプライアンスの浸透する組織風土をどう作るかが大事だと思う。